

金井爲一郎 かねい きちろう 牧師。明治二十年一月二十四日（戸籍）同二月十四日（長野縣南安曇郡梓村生れ、昭和二十八年五月二十一日歿）（八六七―一九六三）。明治四十一年第一高等學校中退。在學中新渡戸給造校長の感化で受洗。四十五年植村正久校長の東京神學社神學校卒。爾後牧師となり、△超教派傳道者として知られ、賀川豐彦の神の國運動を始め、オックスフォード運動等を助勢。昭和二十一年日本聖書神學校初代校長、晩年公は日本ケズイック・コンペンション委員長となる。選書公、E・スタンレー・ジョーイング著『印度途上の基督』（昭和二十四年十月二十日ダヴィッド社）、『サンダー・シング全集』（昭和二十八年十一月二十日基督教文書伝道会）等。他公『最暗黒より光明へ―死刑囚の告白書翰』（編、昭和二十二年二月五日静岡・ミニ書店）、『金井爲一郎著作集』全三卷（金井爲一郎著作集刊行会編、第三卷・昭和五十一年一月十日キリス卜新聞社）等。

